

本書の構成

本方法書では野外調査で採取した各試料の処理方法について解説する。すなわち、堆積有機物試料および化学分析用土壌試料の調整方法、定体積試料の定積細土重測定方法、炭素および窒素濃度の分析法である。

「Ⅰ．堆積有機物試料の調整」では、N、E、S、W の4 調査位置で採取された枝、球果など(T)とそれ以外の堆積有機物(K)の乾燥重量の測定、および4 調査位置の試料の混合と粉碎について説明する。

「Ⅱ．化学分析用土壌試料の調整」では、土壌試料(C)の乾燥手順と、ふるい分けによる分析用細土の調整方法を説明する。

「Ⅲ．定体積試料による定積細土重の測定」では、定体積試料(V, VB)により単位体積当たりの細土の重量を求める工程を説明する。

「Ⅳ．化学分析用土壌試料を兼ねた定体積試料(VBC)の調整と定積細土重の測定」では、ブロックサンプリングで採取された1つの試料について、化学分析用の細土を調整し、定積細土重を測定する方法を説明する。

「Ⅴ．炭素および窒素濃度の分析」では、調整された細土試料と堆積有機物試料を微粉碎して、乾式燃焼法により炭素および窒素濃度を測定する手順を説明する。

また、巻頭に本方法書で使用する用語の簡単な解説と試料調整に必要な機材について説明を加え、巻末には保存用試料の提出方法を掲載した。

なお、測定結果についての取りまとめ(データ入力、計算、報告)は、Microsoft® Excel® を使用し、(国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所が作成したデータ入力ファイルを用いて行う。

本方法書を使用するに当たり、試料収集分析業務の全体像を把握し、試料調整および分析の位置づけと内容をより深く理解するために「森林土壌インベントリ方法書 第四期版 (1)野外調査法」にも目を通すこと。